

令和 6 年 6 月 19 日現在

機関番号：64401

研究種目：基盤研究(B)（特設分野研究）

研究期間：2016～2023

課題番号：16KT0098

研究課題名（和文）中東地域における民衆文化の資源化と公共的コミュニケーション空間の再グローバル化

研究課題名（英文）The Process of Resourcing Popular Culture and the Re-globalization of the Public Communication Sphere in the Contemporary Middle East

研究代表者

西尾 哲夫（Nishio, Tetsuo）

国立民族学博物館・その他部局等・名誉教授

研究者番号：90221473

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 14,100,000円

研究成果の概要（和文）：中東地域におけるグローバル化とコミュニケーション空間の変容をケーススタディーとして、「個人」の周囲に「社会」「地域」「世界」を設定し、「個人」を包摂する価値体系としての「文化」「文明」「世界システム」を解明してきた分析モデルに代わる連環モデルを構築して、時間的にも空間的にも分野間でも複雑に連関する現代の地球社会の問題を可視化することで、人間が個として自然との相互作用の場で創出する空間、自然資源と文化資源が接続し関与する生活空間、地域性や文明的価値が関与する社会空間やグローバル地域空間の中で、グローバルデジタル環境が生む相互作用環の様相を解明した。

研究成果の学術的意義や社会的意義

公共的コミュニケーション空間において民衆文化が資源化されて公共性を獲得するプロセス、および個人が生きるローカルな生活空間とグローバルな社会空間が接合し、個々の人間の社会的動員作用として働くメカニズムを解明することで、民衆、大衆、地域住民という概念の再構築を通じて彼らがグローバル化されたコミュニケーション空間に感応している状況を解明したことは、人類の近未来に係る問題群の一つとして中東問題を設定し直し、新たな世界理解の方法を模索しつつ、地球規模の変動における中東の人間と文化に関する個別の研究を通じて人類の普遍的テーマである「多元的価値共創社会」の可能性を探ることに繋がる。

研究成果の概要（英文）：Using as a case study the transformation of communication space in the Middle East through globalization, this project sets “society,” “region,” and “world” around the “individual,” and then constructs a linkage model to replace the analytical model that has clarified “culture,” “civilization,” and “world system” as value systems that can encompass the “individual”. We will visualize the problems of contemporary global society, which are intricately interrelated temporally, spatially, and inter-disciplinary. We have elucidated the aspects of the interaction rings created by the global digital environment in the space that humans create as individuals in their interaction with nature, in the living space in which natural and cultural resources are connected and involved, and in the social space and global regional space in which locality and civilizational values are involved.

研究分野：言語学

キーワード：グローバル・コミュニケーション 中東 イスラーム

1. 研究開始当初の背景

(1) 研究の学術的背景: 「アラブの春」とよばれる民主化運動は、「フェイスブック革命」という別名が示しているとおり、情報通信機器やSNSの爆発的な普及というIT化に伴う現代的な社会運動であるとされている。しかし、このような解釈は、アラブ世界におけるアラビア語をめぐる社会的位相を無視した皮相的なものである。

アラビア語世界にはフスハーとよばれる文語と、アーンミーヤとよばれる口語がある。フスハーは書き言葉であり、アラブ世界全体の共通語としても機能する。アーンミーヤは話し言葉であり、国ごとに異なるほか、一国内でも地方によって大きく違う。したがってアラビア語の話者は会話の場面や内容によって両者を使いわけている。つまり現在のアラビア語世界では、中世ヨーロッパのような言語状況(文語的共通語としてのラテン語と日常会話語としての各国語が使用されているような言語状況)が出現している。このため、フスハーによる情報交換が成立している世界と、アーンミーヤによる日常的な身近雑事に関する情報交換が行われている世界が分かれており、高等教育を受けてフスハーを使いこなせる人々と、そうでない人々の間では、獲得する情報の種類や分量に偏りがあった。このためアラビア語世界では、言語コミュニケーションを通じた大きなネットワークの成立は困難だった。

ITがこのような状況に変化をもたらした。携帯電話が普及すると、入力しやすいローマ字を用いた日常会話がメールとしてやりとりされるようになった。アラビア語のローマ字表記は過渡的な現象だったが、この過程において話し言葉であったアーンミーヤが文字を獲得し、日常会話をこえたコミュニケーションの範囲が広がっていった。彼らが使用したのが、「中間アラビア語」とよばれる新生の共通アラビア語である。

以上のようなアラビア語世界の変化、すなわち社会的リテラシーの変化を用意したのが、新興の都市部中流層の台頭である。彼らは半世紀ほど前から、フスハーを話し言葉に近づけた「中間アラビア語」を使うようになっていた。この「中間アラビア語」は、テレビ、新聞、インターネット上での使用言語として中間層に広まっていく。こうして、アーンミーヤが表出する日常生活の世界を、フスハーが表出する国民共有の世界へとつなぐ言語が登場した。「中間アラビア語」を駆使する都市中流層は、「アラブの春」ではデモの中心的な担い手となった。このように、新生アラビア語によって新たなコミュニケーション空間が創出され、そこでの民衆ネットワークが中東に民主化をもたらしたのである。

(2) これまでの研究成果と本研究での新たな課題: 中東地域では、地域民衆の言語や文化が国民国家建設の基盤とはならなかった。しかしながら現代のIT化とグローバル化が創出したコミュニケーション空間を生きる都市部中流層は、富裕層や下層の人々から差異化された社会的アイデンティティ確立をめざしている。彼らによる民衆語や民衆文化の資源化あるいは文化資本化をとおして新たな公共文化が誕生しており、グローバルな動向に感応する社会運動の場が確立されつつある。一例を挙げると、グローバル化したベリーダンス再移入の過程では下層文化だったものに社会資本としての伝統的価値が再付与された結果、家元制度的ビジネスへと変貌した。また、移入スポーツである「空手」は、イスラームの真意に通じる宗教実践として再解釈されている。さらにグローバルな移民ネットワークを通じて、イスラモフォビア(イスラーム嫌い)への広報運動の組織化も進行している。これらの事例は、IT化によるコミュニケーション空間の拡大に伴う情報の流通と知識の資源化によって、グローバルな言説空間に感応する公

共的な社会空間が出現していることを示している。

本研究では、新生アラビア語によって創出した公共的コミュニケーション空間において、どのようなプロセスで民衆文化が資源化されて公共性を獲得するのか、またどのようなメカニズムで個人が生きるローカルな生活空間とグローバルな社会空間が接合し、個々の人間の社会的動員作用として働くのかを解明する。

2. 研究の目的

(1) 新生の共通アラビア語である「中間アラビア語」は、エリート知識層の共通語であるフスハー(=古典アラビア語・現代標準アラビア語)による先発的なグローバル・コミュニケーション空間と、日常語であるアーンミーヤ(=地域方言)によるローカル・コミュニケーション空間によって二分されてきた社会空間を接合している。このような言語社会的位相の現代的動態を解明するため、以下の具体的な研究作業をおこなう。

先発的なグローバル・コミュニケーション空間の言語社会的位相の分析： 17世紀以降のカイロなどでは裕福な新興社会層が書籍を所有するようになり、口頭による文化伝承が文字伝承に参入するようになった。口語表現の影響を受けた中世版の「中間アラビア語」変種が民衆文化の文字化を促進した。これの使用実態を分析し、萌芽的な機能を解明する。

新生の共通アラビア語である「中間アラビア語」の現代的動態の分析： 19世紀以降、中世版「中間アラビア語」変種は消滅したとされてきたが、エジプトなどでは現代版「中間アラビア語」が使われるようになった。大衆文化の隆盛の中で再生した現代版「中間アラビア語」を分析し、新生共通アラビア語の現代的動態を解明する。

(2) 新生の共通アラビア語によるコミュニケーション空間は、自律的な公共的コミュニケーション空間へと変貌しつつある。グローバルな情報ネットワークに感応する社会空間として機能する社会動員位相の現代的動態を解明するため、以下の具体的な研究作業を行う。

公共的コミュニケーション空間における公共文化の創発プロセスの分析： 異文化である「空手」をイスラームの真意に通じるものとして受容するなど、自他の社会層を差別化する中での自律的社会空間が創出されている。無標のカテゴリーとして扱われてきた民衆や大衆という概念を再検討し、中東地域における新たな公共空間の内部編成原理を解明する。

公共的コミュニケーション空間における外縁と非境界的動員作用の分析： 近代以前にあってイスラーム法下の外縁世界はジハードの対象空間であり、現代の過激なイスラーム原理主義でも同じ世界認識が踏襲されている。一方、現代の公共的コミュニケーション空間においては、言語や文化を越境する知識のローカライズが行われており、西洋でのイスラモフォビアに対する対照的な動員作用を起している。グローバルな問題に感応する非境界的動員を分析することで、現代世界における新たな公共的グローバル・コミュニケーション空間の接合原理を解明する。

3. 研究の方法

新生の共通アラビア語である「中間アラビア語」が創発した中東地域におけるグローバルな公共的コミュニケーション空間の社会的動員作用に関する新たな課題は次の2つである。

(1) 「中間アラビア語」による社会空間を接合する言語社会的位相の現代的動態

(2) 「中間アラビア語」によって創発した公共的コミュニケーション空間が、グローバルな情報ネットワークに感応する社会空間として機能する社会動員位相の現代的動態を解明する。

このための具体的な分析項目として、(1)の課題に対しては、

先発的なグローバル・コミュニケーション空間の言語社会的位相の分析
新生の共通アラビア語である「中間アラビア語」の現代的動態の分析
(2)の課題に対しては、

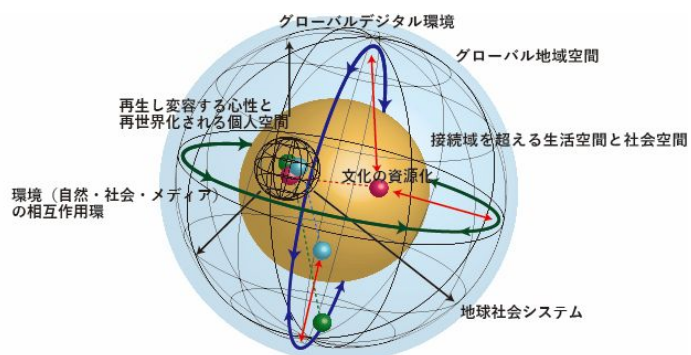
公共的コミュニケーション空間における公共文化の創発プロセスの分析
公共的コミュニケーション空間における外縁と非境界的動員作用の分析

以上四つの項目に沿って、歴史言語学、言語人類学、文化人類学、地域研究による知見を統合する学際的研究を進めることにより、中東地域における新たな公共文化による国民文化創生の可能性だけでなく、現代世界における新たなグローバル・コミュニケーションによる多元的価値共創社会の可能性を究明するための新たな視座を確立する。

4. 研究成果

グローバルな問題に感応して公共的コミュニケーション空間変容の外部要因として働く事例分析にかかる新たな事例研究としての一連の研究を通じて、グローバルな問題に感応して公共的コミュニケーション空間変容の外部要因として働く事例として、歴史心性としての旧来の世界認識が、個人空間と制度的システム(国家や共同体)との間で生起するナラティブ・ポリティクスに感応して、いかなるグローバルな地域性を獲得しようとしているかについてモデル化をおこない、グローバルに往還する文化現象を類型化しようとした成果は、国際的にも高い評価を受けた (Obuse, Keiko and Armand Salvatore. Middle East or “Middle Earth”? : “Re-orienting” Orientalism and Globalizing Area Studies. In *The Oxford Handbook of the Sociology of the Middle East*, ed. by Armand Salvatore et al., 2022. 857-876. Oxford: Oxford University Press.)

グローバル化とデジタル化の急加速は、グローバルデジタル環境の出現、個人と地球社会の間の空間域の流動化、既存の価値(在来知や文明的価値)の資源化、社会の様々なアクターの地球社会の構成員化を生じさせている。そのような社会変化の中で、個人と個人、個人と共同体の関係が紡がれていき、いかなるメカニズムで継承・変容していくかを明らかにすることが、本研究の目的であった。人間の普遍的な能力に環境(自然・社会・メディア)が変項として関与するという目論見で人間の内面性の問題と向き合うと同時に、地域研究の方法論を模索する中で、地域性をミクロな人間の内面性やマクロなグローバル地域との連関で捉える視点をもつようになり、地球社会における環境と心性の連環という、人と自然の相互作用環の根源的かつ包括的理解に係る未開拓の問題に対峙するに至った。異なる心性の人びとがどうやって違いをこえて地球社会の共創のために協働できるのかという問いに答えるためには、地域性をミクロな人間の内面性やマクロなグローバル地域との連関で捉える視点が必要となるが、既成の関連分野には方法論的視座がなく、地球社会における環境と心性の連環という未開拓の文理共創的な視座から考える必要がある。コロナ禍がはじまった2020年には、地球社会における個人と共同体のつながりを根底から揺るがす現象が進行し、個人の実践が、地域社会や国家システムを超越して地球社会へと直截に影響を与え、地球社会と個人が対峙することになった。今や人びとの皮膚感覚である「地球社会」の実相を捉えるグローバル地域研究が必要なのであり、そのために「個人」の周囲に「社会」「地域」「世界」を設定し、「個人」



を包摂する価値体系としての「文化」「文明」「世界システム」を解明してきた従来の分析モデルに代わる連環モデルを構築することで、時間的にも空間的にも分野間でも複雑に関連している現代社会の問題を解決する実践的研究が求められており、人間が個として自然との相互作用の場で創出する空間、自然資源と文化資源が接続し関与する生活空間、その外縁にある地域性や文明的価値が関与する社会空間、さらにその外縁にある地球社会の認知地図としてのグローバル地域空間の中で、自然環境 / 社会環境 / メディア環境、さらに接続域を超えて人間存在を無事に暴露するグローバルデジタル環境が生む相互作用環の様相を究明するための分析モデルを提示した。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計35件（うち査読付論文 14件 / うち国際共著 2件 / うちオープンアクセス 9件）

1. 著者名 西尾哲夫	4. 巻 -
2. 論文標題 「意味の深み」には何があるのか？ 地球社会を共創する哲学としての井筒俊彦の可能性	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 澤井真編『井筒俊彦の思想形成期における東洋思想とその学問的視座』	6. 最初と最後の頁 43-53
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 西尾哲夫・黒田賢治	4. 巻 Online 8
2. 論文標題 肌感覚としての地球社会を認識するために	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 民博通信	6. 最初と最後の頁 1-5
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 西尾哲夫	4. 巻 Online 7
2. 論文標題 共感共創学としての風土学の再構築 環境と心性を架橋する人と自然の科学知に向けたグローバル人文学の創成へ	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 民博通信	6. 最初と最後の頁 6-7
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 Tetsuo Nishio	4. 巻 55
2. 論文標題 Searching for a new bridge between environment and the human mind	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Minpaku Anthropology Newsletter	6. 最初と最後の頁 10-13
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 西尾哲夫	4. 巻 46(4)
2. 論文標題 イブン・アルマルズバーン著『衣服を着た多くのものよりもイヌがすぐれている件についての書』	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 国立民族学博物館研究報告	6. 最初と最後の頁 593-668
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.15021/00009895	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 西尾哲夫	4. 巻 171
2. 論文標題 世界文学としてのアラビアンナイト ガラン版アラジンから考える	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 こどもとしゃかん	6. 最初と最後の頁 2-20
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 西尾哲夫	4. 巻 -
2. 論文標題 なぜ日本で中東地域を研究するのか?	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 西尾哲夫・東長靖(編)『中東・イスラーム世界への30の扉』	6. 最初と最後の頁 355-365
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 相島葉月	4. 巻 126-1
2. 論文標題 AHR Review Roundtable "The Wiley Blackwell History of Islam"	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 American Historical Review	6. 最初と最後の頁 199-213
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/ahr/rhab063	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 相島葉月	4. 巻 -
2. 論文標題 グローバルスポーツとしての武道 空手からエジプトを考える	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 西尾哲夫・東長靖（編）『中東・イスラーム世界への30の扉』	6. 最初と最後の頁 49-59
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 椿原敦子	4. 巻 18
2. 論文標題 映画と酒場：フィルムファールスイー研究のための試論	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 イラン研究	6. 最初と最後の頁 172-189
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 西尾哲夫・岡本尚子	4. 巻 -
2. 論文標題 L' Histoire de Sindbad le Marin est-elle de la littérature populaire? : Une approche nouvelle des relations entre tradition littéraire et culture populaire au Moyen-Orient	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Dominique Casajus, Tetsuo Nishio, Francois Pouillon, et Tsuyoshi Saito (dir.), Sur la notion de culture populaire au Moyen-Orient : Approches franco-japonaises croisees.	6. 最初と最後の頁 41-56
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 該当する

1. 著者名 西尾哲夫・岡本尚子・Margaret Sironval	4. 巻 -
2. 論文標題 Joseph-Charles Mardrus and Orientalism: Re-evaluating His Translation of the Arabian Nights in Light of New Findings from Mardrus' Personal Archives	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Akiko Sumi and Tetsuo Nishio (eds.), The Personal and the Public in Literary Works of the Arab Regions.	6. 最初と最後の頁 109-134
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 該当する

1. 著者名 斎藤剛	4. 巻 -
2. 論文標題 噂、監視、密告：モロッコのベルベル人にみる名誉と日常的暴力の周辺	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 田中雅一・嶺崎寛子編『ジェンダー暴力の文化人類学：家族・国家・ディアスポラ社会』	6. 最初と最後の頁 131-152
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 相島葉月	4. 巻 -
2. 論文標題 Locating the Popular: Sports and Social Class Ideals in Egyptian	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Dominique Casajus, Tetsuo Nishio, Francois Pouillon, et Tsuyoshi Saito (dir.), Sur la notion de culture populaire au Moyen-Orient : Approches franco-japonaises croisees.	6. 最初と最後の頁 153-165
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 相島葉月	4. 巻 -
2. 論文標題 Beyond Correspondence: Doing Anthropology of Islam in the Field and Classroom	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Ahmad, Irfan (ed.) Anthropology and Ethnography are not Equivalent: Reorienting Anthropology for the Future.	6. 最初と最後の頁 20-35
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 西尾哲夫	4. 巻 -
2. 論文標題 「ゆとろぎ」とは	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 縄田浩志編『サウジアラビア、オアシスに生きる女性たちの50年 「みられる私」より「みる私」』	6. 最初と最後の頁 46-47
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 西尾哲夫	4. 巻 43-6
2. 論文標題 「ゆとろぎ」の概念と片倉もとこ	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 月刊みんぱく	6. 最初と最後の頁 9
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 斎藤剛	4. 巻 -
2. 論文標題 生活実感からの再出発：モロッコのベルベル人男性ハーッジとの出会いと歌舞アホワーシュ	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 中尾世治・杉下かおり編『生き方としてのフィールドワーク』	6. 最初と最後の頁 174-203
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 相島葉月	4. 巻 46-4
2. 論文標題 Religion as Critique: Islamic Critical Thinking from Mecca to the Marketplace. Ahmad, Irfan. Chapel Hill: University of North Carolina Press, 2017	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 American Ethnologist	6. 最初と最後の頁 537-538
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/amet.12853	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 相島葉月	4. 巻 31-1
2. 論文標題 The al-Ghazali Enigma and Why Sharia is Not Islamic Law By Haifaa G. Khalafallah (Sheffield and Bristol, CT: Equinox Publishing Ltd, 2017)	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Journal of Islamic Studies	6. 最初と最後の頁 111-113
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/jis/etz040	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 橋原敦子	4. 巻 21
2. 論文標題 イラン大衆音楽の空間的構成をめぐる考察 伝統と近代の二項対立を超えて	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 龍谷大学 国際社会文化研究所紀要	6. 最初と最後の頁 171-183
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 西尾哲夫	4. 巻 164
2. 論文標題 キリスト教徒が伝えたシンドバード航海記	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 季刊民族学	6. 最初と最後の頁 73-78
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 西尾哲夫	4. 巻 163
2. 論文標題 イスラームの語源は『平和』か 中東地域における文化資源の現代の変容と個人空間の再世界化の研究に向けて	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 民博通信	6. 最初と最後の頁 4-9
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 西尾哲夫、中道静香、岡本尚子、鷺見朗子	4. 巻 44
2. 論文標題 The Arabian Nights and Urban Middle-class Cultures in the Arab World: Revisiting the Formation of the So-called Egyptian Recension	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Minpaku Anthropology Newsletter	6. 最初と最後の頁 5-9
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 西尾哲夫、岡本尚子	4. 巻 42-4
2. 論文標題 Un document inedit a propos des ouvrages de Francois Petis de La Croix (1653-1713)	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 国立民族学博物館研究報告	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 西尾哲夫	4. 巻 164
2. 論文標題 キリスト教徒が伝えたシンドバード航海記	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 季刊民族学	6. 最初と最後の頁 73-78
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 西尾哲夫	4. 巻 -
2. 論文標題 運べる家、動く家	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 国立民族学博物館 展示案内	6. 最初と最後の頁 178-181
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 齋藤剛	4. 巻 159
2. 論文標題 融通無碍な生身の個の理解に向けて	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 民博通信	6. 最初と最後の頁 18-19
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 齋藤剛	4. 巻 -
2. 論文標題 先住民化の隘路 モロッコのアマズィグ運動に見る植民地遺産の継承と新たな民族観の創出	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 深山直子、丸山淳子、木村真希子編 『先住民からみる現代世界 わたしたちの あたりまえ に挑む』	6. 最初と最後の頁 143-162
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 相島葉月	4. 巻 18-2
2. 論文標題 Consciously Unmodern: Situating the Self in Sufi Becoming of Contemporary Egypt	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Culture and Religion: An Interdisciplinary Journal	6. 最初と最後の頁 149-164
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/14755610.2017.1326691	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 西尾哲夫	4. 巻 -
2. 論文標題 ベリーダンサーは何を表現しようとしているのか? - 舞踊における意味の深みへ	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 西尾哲夫・水野信男編 『中東世界の音楽文化 うまれかわる伝統』	6. 最初と最後の頁 74-95
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 西尾哲夫	4. 巻 -
2. 論文標題 中東のおとぎ話 千夜一夜物語	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 池田嘉郎・上野慎也・村上衛・森本一夫編 『名著で読む世界史120』	6. 最初と最後の頁 135-137
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 相島葉月	4. 巻 -
2. 論文標題 Are We All Amr Khaled? Islam and the Facebook Generation of Egypt	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 A. Masquelier and B. Soares eds. Muslim Youth and the 9/11 Generation	6. 最初と最後の頁 105-122
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 相島葉月	4. 巻 56-1
2. 論文標題 Between 'Public' Islam and 'Private' Sufism: Producing a National Icon though Mass Mediated Hagiography	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Die Welt des Islams	6. 最初と最後の頁 34-54
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1163/15700607-00561p04	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 椿原敦子	4. 巻 -
2. 論文標題 イランにおける「ポピュラー」音楽の変遷 高尚/低俗の二項対立を超えて	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 西尾哲夫・水野信男編『中東世界の音楽文化 うまれかわる伝統』	6. 最初と最後の頁 54-73
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計62件 (うち招待講演 6件 / うち国際学会 27件)

1. 発表者名 西尾哲夫
2. 発表標題 趣旨説明
3. 学会等名 シンポジウム『地中海古代語への幻想 移動する人、移動する言葉』
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 西尾哲夫
2. 発表標題 文学と地域研究 環境と心性を架橋する人と自然の新たな風土学を求めて
3. 学会等名 第40回人文機構シンポジウム 『人類妄想進化論 文学はいかに地球社会を共創するのか?』
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 西尾哲夫
2. 発表標題 From Global Area Studies to Global Humanities for Co-creating Global Societies
3. 学会等名 The International Conference of Minpaku Special Project “Global Area Studies: Towards a New Epistemology for Mapping the Globalizing World” (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 西尾哲夫
2. 発表標題 『意味の深み』には何があるのか? 地球社会を共創する哲学としての井筒俊彦の可能性
3. 学会等名 国際シンポジウム「井筒俊彦の東洋哲学を再定置する」(国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 西尾哲夫
2. 発表標題 自然環境と言語認識の世界類型
3. 学会等名 国際ワークショップ「「文明の生態史観」と地球社会」(国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 西尾哲夫
2. 発表標題 人間にとって物語とは何か？ 人類史的試論
3. 学会等名 説話・伝承学会2022年度春季大会（招待講演）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 相島葉月
2. 発表標題 ポストスポーツとしてのエジプトの伝統空手道
3. 学会等名 国立民族学博物館共同研究「ネオリベラリズムのモラリティ」
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 椿原敦子
2. 発表標題 A Globe in the Kiln: Destinations and Tastes of Japanese Porcelain
3. 学会等名 The International Conference of Minpaku Special Project “Global Area Studies: Towards a New Epistemology for Mapping the Globalizing World”（国際学会）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 西尾哲夫
2. 発表標題 「意味の深み」には何があるのか？ 人間的普遍と文化的特殊のはざまを生きた井筒俊彦の言語哲学の可能性
3. 学会等名 国立民族学博物館特別研究「グローバル地域研究と地球社会の認知地図 わたしたちはいかに世界を共創するのか？」令和3年度第3回研究会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 西尾哲夫
2. 発表標題 虚構の他者に投影される自己が遭遇する世界の不確実性についての覚書 新たな人間学としての物語論（ナラトロジー）をめざして
3. 学会等名 国立民族学博物館共同研究「グローバル時代における『寛容性／非寛容性』をめぐるナラティブ・ポリティクス」
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 相島葉月
2. 発表標題 ポストスポーツとしてのエジプトの伝統空手道
3. 学会等名 日本文化人類学会第55回研究大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 椿原敦子
2. 発表標題 無我の共同体：イラン・テヘラン市における追悼儀礼のトポロジー
3. 学会等名 日本文化人類学会第55回研究大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 西尾哲夫
2. 発表標題 神と人の言葉をめぐる世界認識の類型化に向けて - Olivier Hanne, L'Alcoran : Comment l'Europe a decouvert le Coran. (Paris: Belin, 2019. 696頁) の紹介と井筒俊彦のコーラン（クルアーン）研究の再評価
3. 学会等名 国立民族学博物館特別研究「グローバル地域研究と地球社会の認知地図 わたしたちはいかに世界を共創するのか？」令和2年度第2回研究会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 西尾哲夫・黒田賢治
2. 発表標題 フォーラム型ミュージアムとしての展示の可能性について
3. 学会等名 日本中東学会第36回年次大会特別研究集会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 西尾哲夫・黒田賢治
2. 発表標題 Mediating past anthropological research data with contemporary researchers and research societies: A case study of the Info-Forum Museum Project in MINPAKU
3. 学会等名 国際学会『Anthropology and Geography: Dialogues Past, Present and Future』(Royal Anthropological Institute, 14-18, September, 2020)(国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 相島葉月
2. 発表標題 Beyond Correspondence: Doing Anthropology of Islam in the Field and Classroom
3. 学会等名 25th Minpaku Lecture Series for Modern Middle East Studies
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 相島葉月
2. 発表標題 神なき時代にスーフィーになるーナセル社会主義とアブドゥルハリーム・マフムードのシャイフ探しの軌跡
3. 学会等名 慶応義塾大学言語文化研究所イスラーム・セミナー(招待講演)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 西尾哲夫
2. 発表標題 井筒俊彦と言語学 言葉・文化・思惟の関係性をめぐって
3. 学会等名 国際ワークショップ「『シャルギー（東洋人）』上映ワークショップ」（国際学会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 西尾哲夫
2. 発表標題 フォーラムとしての現代中東地域研究の可能性
3. 学会等名 日本中東学会第35回年次大会公開講演会「中東地域における多元的資源観の醸成を目指して」
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 西尾哲夫
2. 発表標題 Beyond Orientalism: Studying Belly Dance as a Globalised Cultural Phenomenon
3. 学会等名 国際シンポジウム『Neither Near Nor Far: Encounters and Exchanges between Japan and the Middle East』（国際学会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 西尾哲夫
2. 発表標題 アラビアンナイトとコーヒー
3. 学会等名 日本コーヒー文化学会第26回総会・記念講演会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 西尾哲夫
2. 発表標題 企画展示「サウジアラビア、オアシスに生きる女性たちの50年」について
3. 学会等名 国際シンポジウム「サウジアラビアと日本をつなぐ文化交流のこれから」
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 相島葉月
2. 発表標題 エジプト中流層のメディア消費と教養としてのスーフィズムの形成
3. 学会等名 日本中東学会第35回年次大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 相島葉月
2. 発表標題 Escaping the Nafs in Socialist Egypt: 'Abd al-Halim Mahmud's Search for a Sufi Master
3. 学会等名 Centre Seminar, Oxford Centre for Islamic Studies (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 相島葉月
2. 発表標題 ムスリム知識人像の変容ーメディア化するイスラームと都市中流層について
3. 学会等名 現代中東地域研究事業若手共同研究「現代ムスリム知識人の地域横断ネットワークに関する研究」
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 相島葉月
2. 発表標題 現代エジプトの社会階層とスポーツ実践ーポストスポーツとしての空手道の試論
3. 学会等名 第171回東北人類学談話会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 相島葉月
2. 発表標題 Branding Sufism for the Middle Class: Mass media and ' Abd al-Halim Mahmud's Sufi Da'wa in Post-Socialist Egypt
3. 学会等名 Media and "Public" Islam in Africa and Elsewhere, University of Florida (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 相島葉月
2. 発表標題 Orientalising the Orient? Searching for Karate's Budo Roots in Contemporary Egypt
3. 学会等名 Arabic and Islamic Studies and Japanese Studies, Faculty of Arts, KU Leuven (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 相島葉月
2. 発表標題 Orientalising the Orient? Searching for Karate's Budo Roots in Contemporary Egypt
3. 学会等名 The Centre for Research on Body Cultures in Motion, Ghent University
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 橋原敦子
2. 発表標題 Blooming Rose in Between: Manufacturing Iranian Beauty In Japanese Ceramic Industry
3. 学会等名 国際シンポジウム『Neither Near Nor Far: Encounters and Exchanges between Japan and the Middle East』（国際学会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 西尾哲夫
2. 発表標題 アラビアンナイトからシャイロック、そして異人学にむけて 女嫌い・反セム主義・イスラモフォビア
3. 学会等名 民博共同研究「グローバル時代における『寛容性/非寛容性』をめぐるナラティブ・ポリティクス」
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 西尾哲夫
2. 発表標題 中世から近代におけるアラブ民衆文学の中国表象 アラビアンナイト異本の比較分析から
3. 学会等名 国際シンポジウム『シルクロードと文化交流 人の移動、表象、物語』（国際学会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 西尾哲夫、岡本尚子
2. 発表標題 アラブ音楽研究における 民衆 概念 Guillaum Andre Villoteau (1759~1839) とSimon Jargy (1919~2001)
3. 学会等名 民博共同研究「個世界論 中東から広がる移動と遭遇のダイナミズム」
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 西尾哲夫
2. 発表標題 Minimisation du caractere ethnique de langues: le cas des Arabes et leur francais en Nouvelle-Caledonie
3. 学会等名 国際シンポジウム『Polyphonie en litterature arabo-berbere de langue francaise (フランス語によるアラブ=ベルベル文学における多声/多言語性(ポリフォニー))』(国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 西尾哲夫
2. 発表標題 なぜベリーダンスは世界にひろがったのか？ 音楽が創りだす地球社会の可能性
3. 学会等名 第35回人文機構シンポジウム レクチャーコンサート『中東と日本をつなぐ音の道(サウンドロード) 音楽から地球社会の共生を考える』
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 齋藤剛
2. 発表標題 Reflections on anthropological studies on Moroccan Berbers' tribalism and social relationships
3. 学会等名 World Congress for Middle Eastern Studies (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 相島葉月
2. 発表標題 空手道に見るエジプトの社会階層とスポーツ実践
3. 学会等名 民博共同研究会「ネオリベラリズムのモラリティ」
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 相島葉月
2. 発表標題 フェイスブック世代の若者とイスラーム 現代エジプトの都市中間層のメディア消費をめぐって
3. 学会等名 現代中東若手共同研究「アラブ世界における近代的メディアとイスラーム」
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 椿原敦子
2. 発表標題 バラの来歴：陶磁器をめぐるエステティック・エコノミー試論
3. 学会等名 第14回現代中東地域研究レクチャー・シリーズ / 現代中東地域研究国立民族学博物館拠点第3回若手共同研究会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 椿原敦子
2. 発表標題 Blooming Rose in Between: Ceramic Production in Japan as a Process of Cultural Translation
3. 学会等名 International Symposium "Perspective on Material Culture and Middle Eastern Turn" (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 西尾哲夫
2. 発表標題 グローバル現象としての文化の資源化について ベリーダンス研究から
3. 学会等名 平成29年度第2回現代中東地域研究推進会議シンポジウム「多元的資源観からみる現代中東」
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 西尾哲夫
2. 発表標題 国立民族学博物館での取り組み (A case of Archives in The National Museum of Ethnology)
3. 学会等名 国際シンポジウム「アラビア半島の文化遺産保護の現状と展開：サウジアラビアを中心として (Preservation of Cultural Heritage in the Arabian Peninsula)」(国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 西尾哲夫
2. 発表標題 アラビアンナイトとコーヒー～禁忌から世界の嗜好品へ
3. 学会等名 UCCコーヒー博物館開館30周年記念講演会 (招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 西尾哲夫
2. 発表標題 Joseph-Charles Mardrus and Orientalism: Re-evaluating his Translation of the Arabian Nights in Light of New Findings from "Mardrus Collection Bequest"
3. 学会等名 国際シンポジウム「French Orientalism and Its Afterlives in Japan and the Middle East」(国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 西尾哲夫
2. 発表標題 The Role of Poetry and Character-shaping in an Early Nineteenth Century Vernacular Version of the Arabian Nights: An Attempt to Reconsider the Relationship between "Modern" and "Ego" in the Middle East
3. 学会等名 国際シンポジウム「The Personal and the Public in Literary Works of the Arab Regions」(国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 齋藤剛
2. 発表標題 ムフタルスースイーにみる個
3. 学会等名 国立民族学博物館共同研究「個-世界論 中東から広がる移動と遭遇のダイナミズム」
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 相島葉月
2. 発表標題 Competing Aesthetics of Power in Egyptian Karate Trainings
3. 学会等名 116th Annual Meeting of the American Anthropological (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 相島葉月
2. 発表標題 Public Culture and Islam in Modern Egypt: Media, Intellectuals and Society
3. 学会等名 The Center for Global Islamic Studies and the Center for African Studies, University of Florida, Gainesville (招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 相島葉月
2. 発表標題 Globalisation from its Margins: Searching for Karate's Budo Roots in Contemporary Egypt
3. 学会等名 Middle East Centre Friday Seminar Series, St Antony's College, Oxford (招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 相島葉月
2. 発表標題 Orientalising the Orient?: Searching for Karate 's Budo Roots in Contemporary Egypt
3. 学会等名 New Research on Japanese Martial Arts-From Inside Japan and Out, the Bath Royal Literary and Scientific Institution, Bath (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 相島葉月
2. 発表標題 現代エジプトのスーフィズムにおける自己主体性とモダニティの位相
3. 学会等名 国立民族学博物館共同研究「個-世界論 中東から広がる移動と遭遇のダイナミズム」
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 相島葉月
2. 発表標題 現代エジプトのスーフィズムにおける自己主体性とモダニティ
3. 学会等名 第281回民博研究懇談会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 相島葉月
2. 発表標題 エジプトでイスラーム思想のテキストを読む
3. 学会等名 第406回みんなぱくゼミナール
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 相島葉月
2. 発表標題 Orientalising the Orient?: Searching for Karate 's Budo Roots in Contemporary Egypt
3. 学会等名 国際シンポジウム「French Orientalism and Its Afterlives in Japan and the Middle East」(国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 橋原敦子
2. 発表標題 Flexible Orientalism: The Flow of Mass-Produced Ceramics from Japan to Iran
3. 学会等名 国際シンポジウム「French Orientalism and Its Afterlives in Japan and the Middle East」(国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 西尾哲夫
2. 発表標題 言葉から文化を考える 「アラブ的思考様式」再考
3. 学会等名 第461回みんぱくゼミナール
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 西尾哲夫
2. 発表標題 異文化が交差する物語 アラビアンナイトからのぞく中東世界
3. 学会等名 第117回国立民族学博物館友の会東京講演会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 西尾哲夫
2. 発表標題 L'Histoire de Sindbad le Marin est-elle de la littérature populaire?: Une nouvelle démarche entre tradition littéraire et culture populaire au Moyen Orient
3. 学会等名 La culture populaire au Moyen Orient: Approches franco-japonaises croisees (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 齋藤剛
2. 発表標題 Reflexions sur la culture populaire dans le Moyen Orient: Perspectives anthropologiques japonaises
3. 学会等名 La culture populaire au Moyen Orient: Approches franco-japonaises croisees (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 相島葉月
2. 発表標題 A Salafi School of Karate? Debating Tradition/Modern in Post-2011 Egypt.
3. 学会等名 Global Flow of Cultural Knowledge: Between Japan and the Middle East (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 相島葉月
2. 発表標題 Locating the Popular: Sporting and Social Class in Neoliberal Egypt
3. 学会等名 La culture populaire au Moyen Orient: Approches franco-japonaises croisees (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 橋原敦子
2. 発表標題 Being Maddah in Contemporary Iranian society
3. 学会等名 La culture populaire au Moyen Orient: Approches franco-japonaises croisees (国際学会)
4. 発表年 2017年

〔図書〕 計14件

1. 著者名 Tetsuo Nishio, Okamoto Naoko, Jun'ichi Oda, Margaret Sironval, Marion Chesnais, et Yo Kaji	4. 発行年 2022年
2. 出版社 Edition Abencerage	5. 総ページ数 266
3. 書名 Catalogue du Fonds Josephe-Charles Mardrus, traducteur des Mille Nuits et une Nuit	

1. 著者名 西尾哲夫・縄田浩志	4. 発行年 2021年
2. 出版社 国立民族学博物館	5. 総ページ数 216
3. 書名 片倉もとこフィールド調査資料の研究	

1. 著者名 西尾哲夫・東長靖	4. 発行年 2021年
2. 出版社 ミネルヴァ書房	5. 総ページ数 392
3. 書名 中東・イスラーム世界への30の扉	

1. 著者名 Dominique Casajus, Tetsuo Nishio, Francois Pouillon, et Tsuyoshi Saito	4. 発行年 2021年
2. 出版社 National Museum of Ethnology	5. 総ページ数 203
3. 書名 Sur la notion de culture populaire au Moyen-Orient : Approches franco-japonaises croisees.	

1. 著者名 Akiko Sumi and Tetsuo Nishio	4. 発行年 2021年
2. 出版社 Center for Modern Middle East Studies at the National Museum of Ethnology	5. 総ページ数 177
3. 書名 The Personal and the Public in Literary Works of the Arab Regions.	

1. 著者名 シモン・ジャルジー著、水野信男監修、西尾哲夫、岡本尚子訳	4. 発行年 2019年
2. 出版社 白水社	5. 総ページ数 180
3. 書名 『アラブ音楽』	

1. 著者名 黒田賢治、西尾哲夫	4. 発行年 2019年
2. 出版社 国立民族学博物館・現代中東地域研究拠点	5. 総ページ数 334
3. 書名 Research Source Guide for Museums in the Middle East: Islamic Republic of Iran	

1. 著者名 相島葉月	4. 発行年 2019年
2. 出版社 国立民族学博物館・現代中東地域研究拠点	5. 総ページ数 182
3. 書名 Reading Ali the Goat and Ibrahim in Arabic, English and Japanese	

1. 著者名 椿原敦子、黒田賢治	4. 発行年 2018年
2. 出版社 星海社	5. 総ページ数 208
3. 書名 『『サトコとナダ』から考えるイスラム入門』	

1. 著者名 椿原敦子	4. 発行年 2019年
2. 出版社 春風社	5. 総ページ数 312
3. 書名 『グローバル都市を生きる人々 イラン人ディアスポラの民族誌』	

1. 著者名 齋藤剛	4. 発行年 2018年
2. 出版社 昭和堂	5. 総ページ数 351
3. 書名 移動社会 のなかのイスラーム：モロッコのベルベル系商業民の生活と信仰をめぐる人類学	

1. 著者名 西尾哲夫, 水野信男	4. 発行年 2016年
2. 出版社 スタイルノート	5. 総ページ数 384
3. 書名 中東世界の音楽文化 うまれかわる伝統	

1. 著者名 西尾哲夫, 水野信男	4. 発行年 2017年
2. 出版社 Center for Modern Middle East Studies (国立民族学博物館・現代中東地域研究拠点)	5. 総ページ数 308
3. 書名 Complete Texts of Umm Kulthum 's Lyrics (Resources for Modern Middle Studies 1)	

1. 著者名 相島葉月	4. 発行年 2016年
2. 出版社 I.B.Tauris	5. 総ページ数 204
3. 書名 Public Culture and Islam in Modern Egypt: Media, Intellectuals and Society	

〔産業財産権〕

〔その他〕

<p>中東地域における民衆文化の資源化と公共的コミュニケーション空間の再グローバル化 (2016-2022) https://www.minpaku.ac.jp/post-project/5243 中東地域における民衆文化の資源化と公共的コミュニケーション空間の再グローバル化 https://www.minpaku.ac.jp/post-project/5243 中東地域における民衆文化の資源化と公共的コミュニケーション空間の再グローバル化 https://www.minpaku.ac.jp/post-project/5243 中東地域における民衆文化の資源化と公共的コミュニケーション空間の再グローバル化 www.minpaku.ac.jp/research/activity/project/other/kaken/16KT0098 中東地域における民衆文化の資源化と公共的コミュニケーション空間の再グローバル化 http://www.minpaku.ac.jp/research/activity/project/other/kaken/16KT0098 中東地域における民衆文化の資源化と公共的コミュニケーション空間の再グローバル化 (2016-2020) http://www.minpaku.ac.jp/research/activity/project/other/kaken/16KT0098 中東地域における民衆文化の資源化と公共的コミュニケーション空間の再グローバル化 (2016-2020) http://www.minpaku.ac.jp/research/activity/project/other/kaken/16KT0098</p>
--

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	齋藤 剛 (Saito Tsuyoshi) (90508912)	神戸大学・国際文化学研究所・教授 (14501)	
研究分担者	相島 葉月 (Aishima Hatsuki) (40622171)	国立民族学博物館・グローバル現象研究部・准教授 (64401)	
研究分担者	椿原 敦子 (Tsubakihara Atsuko) (00726086)	龍谷大学・社会学部・准教授 (34316)	

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計9件

国際研究集会 『シャルギー（東洋人）』上映ワークショップ	開催年 2019年～2019年
国際研究集会 Neither Near Nor Far: Encounters and Exchanges between Japan and the Middle East	開催年 2019年～2019年
国際研究集会 シルクロードと文化交流：人の移動、表象、物語	開催年 2019年～2019年
国際研究集会 Perspective on Material Culture and Middle Eastern Turn	開催年 2019年～2019年
国際研究集会 Polyphonie en litterature arabo-berbere de langue francaise	開催年 2019年～2019年
国際研究集会 アラビア半島の文化遺産保護の現状と展開：サウジアラビアを中心として (Preservation of Cultural Heritage in the Arabian Peninsula)	開催年 2017年～2017年
国際研究集会 French Orientalism and Its Afterlives in Japan and the Middle East	開催年 2018年～2018年
国際研究集会 The Personal and the Public in Literary Works of the Arab Regions	開催年 2018年～2018年
国際研究集会 La culture populaire au Moyen Orient: Approches franco-japonaises croisees	開催年 2017年～2017年

8 . 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------